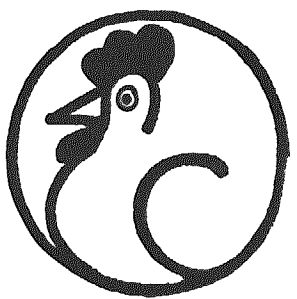


一九九三年

あけまして

おめでとう！ハッピーニューイヤー



## 新年のあいさつ

黒埼町長 浅妻茂一郎

平成五年（一九九三年）の新年を寿ぎ、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。旧年中は公私にわたり温かい御支援と御協力を賜り有難く厚くお礼申し上げます。本年も旧に倍する御指導、御鞭撻と御協力をお願い申し上げる次第であります。

さて、「一年の計は元旦にあり」とは、古くから年頭に当たって、新たな決意を持って新しく迎えた年をどのように思いめぐらすかを端的に表現したところでありますが、昨年にまして今年も、町民のすべてが健康で快活、明るく住み良い町になるよう祈念すると共に

そのために努力を誓うものであります。

「元旦や申歳去って東天紅」すがすがしい元旦の暁に澄んだ東天紅の鳴き声に象徴される西歳の今年も、町制施行二十周年目に当たります。

昭和四十八年二月一日、新生黒埼町として出発したわが町は、高速交通時代に入って、北陸自動車道及関越自動車道と新潟市を結ぶ要として重きをなし、物流基地として発展しつつある北部地域には、盤越自動車道工事の進捗に伴って信濃川に斜張橋が建設されました。君の名は今をトキメク「ト

キメキ橋」未来を拓く環日本海の名称の如くライトを点燈した夜景のすばらしさは新潟市の夜景を借景とする新しい名所としてわが町の象徴ともなるものと思われま。 「天高く 水清ければ 憂いなし」

平成四年度に新たに認可を受けた西川流域下水道事業はいよいよ本年度から事業着手となり、公共下水道事業を推進してまいります。また、厚生省の指定を受けた水環境、健康づくり、国保医療の三本柱からなる特別対策事業の取り組みを通して住民の健康づくり推進にかかわる事業も、二十一世

紀を目指して構築されなければならない快適な生活環境づくりに他ならないのであります。

今また、山田土地改良を解散に伴って町が引き継いだ用・排水路の整備についても、自治省の起債

事業によるふれ合いロード環境整備事業として環境整備を進めることといたしました。

町民すべての幸せを願い、また町民の持つ活力、創造性を生かして現実の課題に挑戦して、未来に

向かってゆとりと豊かさを享受できるよう本年も努力していきたくと考えております。

町民皆様の御活躍と御多幸を祈念し、新年のごあいさつと致します。

## 新年のあいさつ

黒埼町議会議長 内藤 隆

新年おめでとうございます。町民各位におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年にあたり、黒埼町議会を代表して皆様に謹んでご挨拶を申し上げます。

今、本町を取り巻く新潟地域社会は二十一世紀を展望して、新潟市を中心とした周辺市町村が、それぞれの特徴を活かした快適で活力のある豊かな地方拠点都市の形成、或いは環日本海時代にふさわしい国際交流・国際物流拠点都市を旨とした、基盤整備と企業誘致を重点的に進める広域市町村圏計画、及び構想が各界各層において論議されてまいりました。

こうした状況下にあつて本町

は、県都新潟市の周辺都市として重要視され、脚光を浴びております。緒立・的場土地区画整理組合事業が完了し、流通産業をはじめとする企業進出が期待されております。また、北部土地区画整理組合事業が、公園緑地及び下水道浄化処理施設を完備した、優良宅地開発に着工したところであります。

今また、県・町の事業として、西川流域下水道事業も都市計画決定を受けて、着工が決定されているところであり、今後、更に土地区画整備事業の取り組みが、積極的に推進されることが予想され、都市開発が、町行政の重要な課題となつてきております。

まさに、地方の時代に向けて本

町の役割は大きく、町民の寄せる期待はますます高いと思うのであります。こうした背景の中にあつて、本町議会の重要性は一層増すものと議員一同、意を新たにいたしているところであります。

どうか今後とも、町民各位とともに英知を持ち寄り、町の開発・町おこしに精進しなければならぬと考えておりますので、議会に對するご支援とご協力を賜りますよう、切にお願いを申し上げます。 第であります。

終わりに臨み、本年も町民皆様

## 新春を迎えて